

# 令和7（2025）年度 事業報告

## 1. 概況

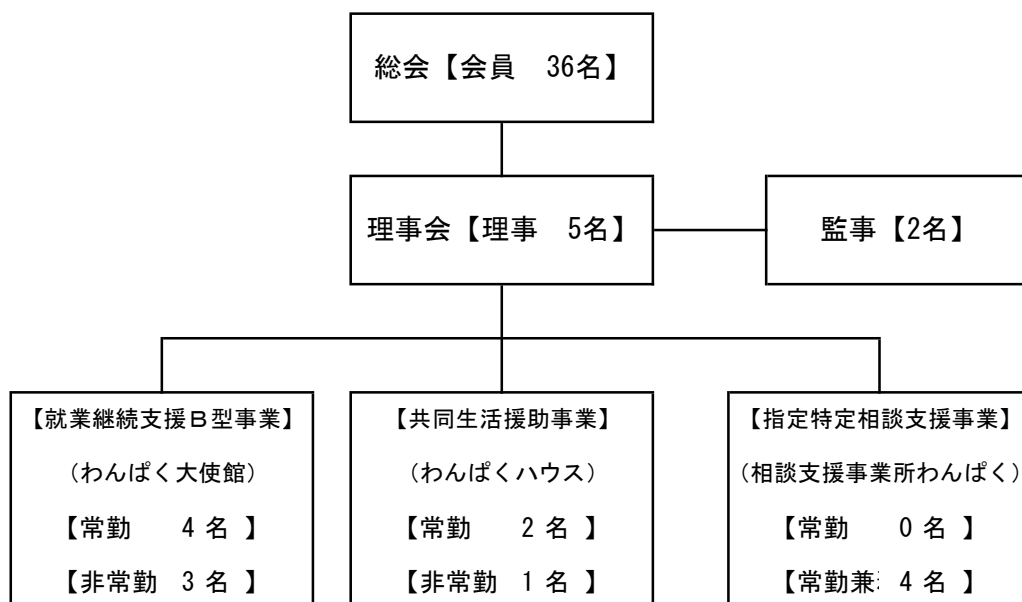
今年度は、「利用者サービスの質の向上」と「業務効率化」を経営の二本柱とし、経営基盤の強化に取り組みました。

まず、「利用者サービスの質の向上」について、実際に支援にあたる職員の処遇や労働条件を改善し負担を軽減することで、利用者への支援に注力できる環境を整えました。

「業務効率化」においては、ICT等の活用により事務負担の大幅な軽減を図りました。

また、アート事業では、外部企業とのパートナーシップに基づき、大阪万博公式キャラクター「ミyakumiyak」とのコラボレーションし商品販売に協力する事ができるなど、充実した1年となりました。

## 2. 組織体制（2026年3月31日現在）



### 2025年度中の職員の推移

- ・ 2025年4月1日現在職員数 9名
- ・ 2025年度中退職職員数 0名
- ・ 2025年度中採用職員数 1名
- ・ 2025年度末職員数 10名

※職員は、非常勤を含む。

① 2025年度会員数

正会員 36名 賛助会員 0名 計 36名

② 理事数・理事会開催数

理事 5名 監事 2名 開催数 3回

3. 各事業の成果

A) 障がい者就労継続支援B型事業所「わんぱく大使館」運営

事業内容：障がいのある方の個性や創造性に着目した自立支援の場として、「わんぱく大使館（B型事業所）」を運営。

成果 利用者サービスの質の向上のために以下を実施

1. 作業内容の再編と深化：各利用者の特性を再分析。従来の作業内容の一部を見直しました。

成果：各利用者が特性にあった作業に取り組むことで、自己肯定感と作業精度の向上を図ることができました。

2. アート展の開催：「アートを通じて地域と繋がる」をテーマに、地元の公共施設で作品を展示。併せてオンライン販売を行いました。（2025年10月27日～10月31日）

成果：地域住民との直接的な交流に加え、デジタル空間での発信により、より多くの方に作品を見て頂くことで作品販売に繋がり、作品販売による工賃向上が、新たな創意欲へと繋がりました。

※本事業はTOPPANホールディングス株式会社様からの多額のご寄付により、運営基盤の安定と表現活動の充実を実現しております。

（アート関連）

山陰パナソニック株式会社様のバディアートに参加：

利用者のデザインの一部が、大阪万博公式キャラクター「ミャクミャク」とコラボレーション商品に採用されました。

成果：ミャクミャクとのコラボ商品が販売されることで、より多くの方にアートを見て頂きました。また、商品の売上げの一部を「島根県」、「鳥取県」、「大阪府」に寄付することで、間接的に社会貢献に寄与することができました。

3. 施設外就労による工賃引き上げ：株式会社アイ・ねっと様から継続的に業務を受託し、施設外就労の実務経験の場を提供して頂きました。

成果：利用者の特性に合った実務経験を積むことで就労に向けた意欲の向上に繋がりました。また、平均工賃の大幅な引き上げという成果も得ることができました。

4. 職員の処遇改善：処遇改善加算の一本化等に迅速に対応し、賃金体系の抜本的な見直しを行いました。また、フレックス勤務制度を導入し、より働きやすい職場環境を整えました。

成果：職員の給与水準を上げ、フレックス勤務制度を導入することで、モチベーション維持と、離職防止に繋ぐことができました。

5. 効率化による業務の選択と集中：

利用者支援以外の事務や記録等の負担を軽減するため、独自の「業務効率化システム」を開発、導入しました。

成果：事務や記録時間の短縮によって捻出した時間を、利用者の支援に充当することで、各利用者に対し、より質の高い支援を行うことができました。



2025年チャレンジドアート  
エキスポ  
平田行政センターにて実施  
(2025. 10. 27)



出雲市長へ、くにびきマラソン  
Tシャツ完成をお披露目している様子 (2025. 12. 2) と  
くにびきマラソンでの様子 (2026. 2. 28)



TOPPANホールディングス株式会社様、障がい者アート協会様とのコラボ 可能性アート  
プロジェクト展2025



山陰パナソニック(株)様が行うバディアートに参加、大阪万博  
グッズをコラボ、売り上げの一部を島根県障がい福祉課へ寄贈  
しました。2025.12.23 (島根県庁にて)



極美山陰展への出展  
したアーティストた  
ち (受賞者含む)  
2025.10.13



地域のお祭りに使う花飾りを作らせていただきました。2025.10.12



平田広域交番の警察官による講話を実施しました。2025.8.8

### 利用者数の状況

定員20名（利用者数23名）

月 度	(2025年4月～2026年3月)											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数(名)	22	22	22	22	22	23	23	23	23	23	23	23
月平均利用(名)	17	18	17	17	17	17	18	18	18	18	16	18
充足率(%)	85	90	85	85	85	85	90	90	90	90	80	90

### 就労支援事業収入と平均工賃額

月 度	(2025年4月～2026年3月)											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就労支援事業収入(千円)	563	551	547	608	643	551	575	562	591	609	545	566
平均工賃(千円)	33	31	32	36	38	32	32	31	33	34	34	31

### B) 障がい者・障がい児相談支援事業「わんぱく」運営

事業内容：出雲市に在住の障がいのある方を対象に相談業務を実施。

成果：相談ニーズの複雑化・多様化に対応するため、職員の研修受講（初任者・現任者）を全面的に支援し、事業所全体の専門スキルの底上げを実現しました。

利用者数の状況（利用者数10名）

月 度	(2025年4月～2026年3月)											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数（名）	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
サービス提供実施回数	8	7	9	9	7	8	8	7	9	8	7	8

C) 障がい者共同生活援助事業所「わんぱくハウス」運営

事業内容：障がいのある方たちが安心して生活できる場として「わんぱくハウス」を運営

成果：各入居者に対して心理的安全性を確保し、誰もが暮らしやすい環境づくりを行いました。入居者の生活面の特性に沿った生活支援を計画することで、よりきめ細やかな支援を行いました。

また、地域の一員として安心して暮らすために、地域連携推進会議の開催や地域行事への積極的な参加を通じて地域共生を実現しました。

利用者数の状況

定員6名（利用者数2名）

月 度	(2025年4月～2026年3月)											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数（名）	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
月平均利用（名）	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
充足率（％）	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33

D) 「わんぱく学園事業」  
休止中のため活動はしていません。

4、事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施事業の日時、場所 従事者の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (単位：千円)
本部	本部事業	通年	16	1,455
就労継続支援B 型事業所 わんぱく大使館	アート展開催	第15回国際チャレンジド アートエキスポ R7年10月27日～R7年10月31日 5名	絵画、陶芸製作者 20名  20名	0
	障がい者の就労 支援	毎週月曜日～金曜日 9時～16時 わんぱく大使館 7名	わんぱく大使館 利用者 23名	35,281
計画相談支援	障がい者の計画 相談支援	毎週月曜日～金曜日 10時～16時 相談支援事業所わんぱく 4名	相談支援事業所 わんぱく 利用者 8名	3,412
共同生活支援 事業	障がい者の共同 生活支援	年末年始以外 わんぱくハウス 3名	わんぱくハウス 利用者 2名	6,864
わんぱく学園 事業	障がい者、健常 者一緒の戸外活 動	休止		0

(2) その他の事業 実施していない。